

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	国際トレーナー論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	井上 佳子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
人体解剖実習、コアコンディショニング、水中における搬送法、スポーツアクティビティー、パーソナルトレーナー論コーディネーショントレーニング、など講義と実習を体験することで知見を広めることが出来るようになる						
《成績評価の方法と基準》						
1. 期末レポート:70％ 2. 授業内課題:20％ 3. グループワーク中の態度・発表:10％						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
現地にて資料配布						
《授業外における学習方法》						
予備学習としてアメリカについて調べることで、現地学生とコミュニケーションをとれるようになる、時差や通貨、気温についてなど現地の環境についても調べ学習を実施すること						
《履修に当たっての留意点》						
海外研修を通じて国際的な視野を学ぶとともに、海外の学生さんとコミュニケーションをとり、文化の違いを身をもって体感しましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	アメリカについて調べることで現地の様子を想像できるようになる		適宜必要資料配布	ESTA登録について事前に調べ学習を実施
		各コマにおける授業予定	アメリカを知る～文化の違いや渡航についての準備(ESTA登録)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	簡単な英会話を通してコミュニケーションがとれるようになる		適宜必要資料配布	現地で使うことが可能な英会話を調べ学習を実施
		各コマにおける授業予定	アメリカを知る～日常会話を使えるようにしよう 英語初級編			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	アメリカ研修の内容を把握し、積極的に学ぶ心構えをもてるようになる		適宜必要資料配布	事前に研修のしおりに目を通しておく
		各コマにおける授業予定	開校式			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	アメリカのトレーナー資格制度について理解できるようになる		適宜必要資料配布	事前に研修のしおりに目を通しておく
		各コマにおける授業予定	アメリカにおけるトレーナーの現状			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ現場における応急処置を理解できるようになる		適宜必要資料配布	事前に研修のしおりに目を通しておく
		各コマにおける授業予定	応急処置(水難救助、テーピング、アスレティックリハビリテーション)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ現場における応急処置を理解できるようになる	適宜必要資料配布	事前に研修のしおりに目を通しておく
		各コマにおける授業予定	応急処置(水難救助、テーピング、アスレティックリハビリテーション)		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	アメリカにおけるパーソナルトレーナーの現状を理解できるようになる	適宜必要資料配布	事前に研修のしおりに目を通しておく
		各コマにおける授業予定	パーソナルトレーナー特論		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ活動活かせるコアコンディショニングを理解できるようになる	適宜必要資料配布	事前に研修のしおりに目を通しておく
		各コマにおける授業予定	コアコンディショニング		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ活動に活かせるコーディネーションを理解できるようになる	適宜必要資料配布	事前に研修のしおりに目を通しておく
		各コマにおける授業予定	コーディネーショントレーニング		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ観戦を通じて競技特性を学ぶことができるようになる	適宜必要資料配布	事前に研修のしおりに目を通しておく
		各コマにおける授業予定	スポーツ観戦(アメリカンフットボール)		
第11回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	人体解剖を通じて皮膚の下を理解できるようになる	適宜必要資料配布	人体解剖について部位ごとの調べ学習を実施
		各コマにおける授業予定	人体解剖実習		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	人体解剖を通じて皮膚の下を理解できるようになる	適宜必要資料配布	人体解剖について部位ごとの調べ学習を実施
		各コマにおける授業予定	人体解剖実習		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	現地の学生とスポーツを通じて交流を図ることが出来るようになる	適宜必要資料配布	人体解剖について部位ごとの調べ学習を実施
		各コマにおける授業予定	スポーツアクティビティー		
第14回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	研修のまとめとして、日本学生による日本の現状発表の実施ができるようになる	適宜必要資料配布	発表準備のパワーポイントを作成し、発表練習を行う
		各コマにおける授業予定	開校式 学生発表		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修のまとめ	適宜必要資料配布	研修のしおりの作成
		各コマにおける授業予定	研修レポートのまとめ、作成および、1年生へのプレゼンテーション発表		